



連携室
だより

ろうさい

第18号

令和4年1月吉日
地域医療連携室



青森労災病院 理念 「やさしく、あたたかい病院」

- ・ 患者さんの権利を尊重し、患者さん中心の医療を行います。
- ・ 医療の質の向上をめざします。
- ・ 勤労者医療・地域医療等における役割を推進します。

新年のご挨拶

院長 玉澤 直樹



新年あけましておめでとうございます。

平素より当院へのご協力・ご支援に厚くお礼申し上げます。当院は本年も「やさしくあたたかい病院」という当院の理念を職員全員が心にとどめ、地域の皆様から信頼される病院を目指して参ります。

2021年7月～9月は新型コロナウイルス過去最大の第5波を迎え、八戸医療圏もかなりの新規感染患者が発生しました。県の健康福祉部・八戸地域の保健所・八戸市民病院、八戸赤十字病院のご指導・ご協力をいただきながら何とか乗り切れました。本当にご苦勞様です。当院でも発熱外来でのPCR検査・診察、8月には病棟を再編成して入院患者も受け入れました。ワクチン接種については、個別接種(約6,400人)、職域接種(約1,100人)への各2回の接種を行いました。幸い大過なく対応できました。1月からは追加接種が始まります。

コロナ変異株はデルタ株と入れ替わるのか・共存するのか? mRNAワクチンは限界でDNAワクチンや弱毒ワクチンなどが必要なのか? 複数ある治療薬の選択・長期の副作用は? など今後も問題山積で2022年も引き続き辛抱強く、関連機関と情報を共有してコロナ対応していく必要があります。

一方Withコロナとしても、当院の目標である高度急性期から回復期まで、つまり病気の予防・発症からその後の在宅復帰支援まで切れ目のない医療を提供するコンパクトな総合病院を目指す姿勢に変更はありません。当院の特徴として掲げる、がん診療、生活習慣病、整形外科疾患、泌尿器科疾患への対応を強化することはこれからの高齢者社会を考えてもとても大切です。今後はこれからの社会情勢を十分に踏まえながら、地域の患者とニーズに寄り添った医療を実践していくという難しい舵取りが要求されています。これまでに増して病院同士・医師会との交流、介護施設との連携強化の必要性が高まるものと思われます。しっかりと協力していきたいと考えています。

コロナ禍からの一日も早く落ち着いた生活を取り戻せるよう心よりお祈り申し上げますとともに、皆様にとりまして本年が健やかで、楽しい年となりますよう祈念しまして、年頭のご挨拶といたします。



● 世界糖尿病デー in 八戸 2021

11月13日（土）に世界糖尿病デーin八戸2021を

Web講演にて開催しました。

演題は「インスリン発見100周年の年に」で、よもやま話や高齢

1型糖尿病患者さんへの公開インタビューも行いました。



世界糖尿病デーとは？

2006年に国際糖尿病連合（IDF）は、11月14日を「世界糖尿病デー」

に指定し、世界各地で毎年11月14日に糖尿病の予防、治療、療養を喚起

する啓発運動を推進しています。

1891年11月14日は、インスリンの発見者のフレデリック・グラント・バンティング

の誕生日にあたります。そのバンティングは1923年ノーベル生理学・医学賞を受賞しました。

糖尿病治療に画期的な発見に敬意を表し、この日を糖尿病デーとしています。

世界糖尿病デーでは青い丸（ブルーサークル）が用いられており、国連やどこまでも続く

空を表す「ブルー」と、団結を表す「輪」をデザインし、「Unite for Diabetes」

（糖尿病との闘いのため団結せよ）というキャッチフレーズがあります。



オンライン資格確認システムの導入

令和3年10月1日（金）からオンライン資格確認システムを導入することになりました。

オンライン資格確認システムはマイナンバーカードを利用して受付がスムーズに行うことができ、非接触なので感染対策にもなります。

ご利用の際はマイナンバーカードの健康保険証利用申し込みが必要になります。

当院に設置している顔認証付きカードリーダーで簡単に行うことができますが、待ち時間が発生することを防ぐため、あらかじめ手続きしておいていただくことをお願いしています。

健康保険証利用の申込みを事前に行うには、マイナンバーカードとカードリーダー機能を備えたデバイス（スマートフォン、PC＋ICカードリーダー）を用いる必要があります。

マイナンバーカードをカードリーダーにかざすことによって、保険情報の確認や限度額認定証の照会を行うことができます。健康保険証を利用したの確認も可能です。

当院を受診する際に、健康保険証を忘れてきても、マイナンバーカードを持参していれば、健康保険証の代わりにご利用可能です。

詳しくはマイナポータルサイトをご確認のうえ、健康保険証利用手続きをしてください。





青森労災病院 FAX・電話による診療予約のご案内

当院では、紹介患者さんの待ち時間短縮を目的に、FAX・電話による診療予約を実施しております。

【専用FAXによる予約方法】

予約受付時間：午前8:30～午後9:15（ただし、状況によって対応します。）

予約FAX番号：0178-33-1690（地域医療連携室直通）

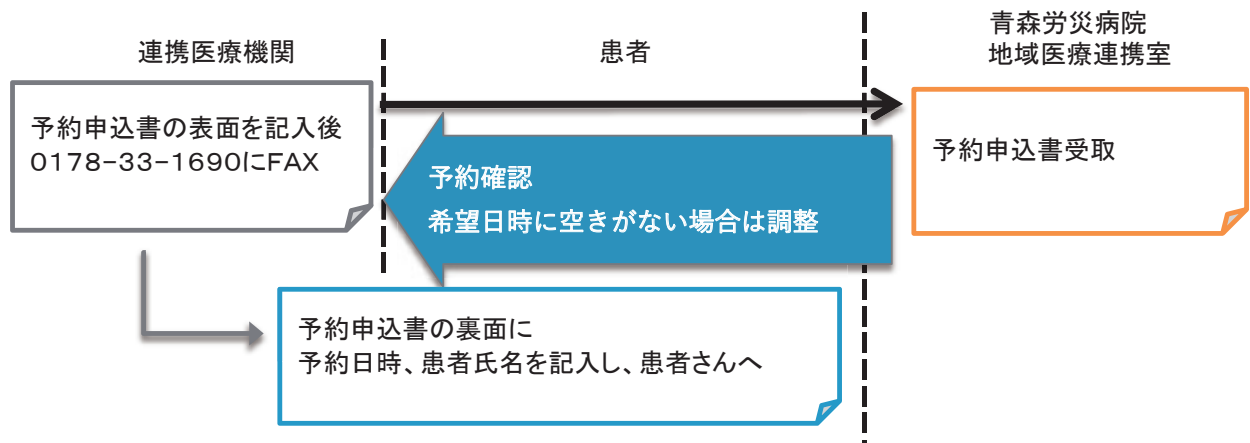
予約申込書：当院ホームページ≫各部門のご紹介≫地域医療連携室のページからダウンロード可能です。

郵送またはFAXでもお送りしますので、ご希望の際はご連絡ください。

※予約の申込につきましては、診療日前日までとなっております。

当日の予約については、お電話のみでの対応とさせていただきます。

◇利用手順

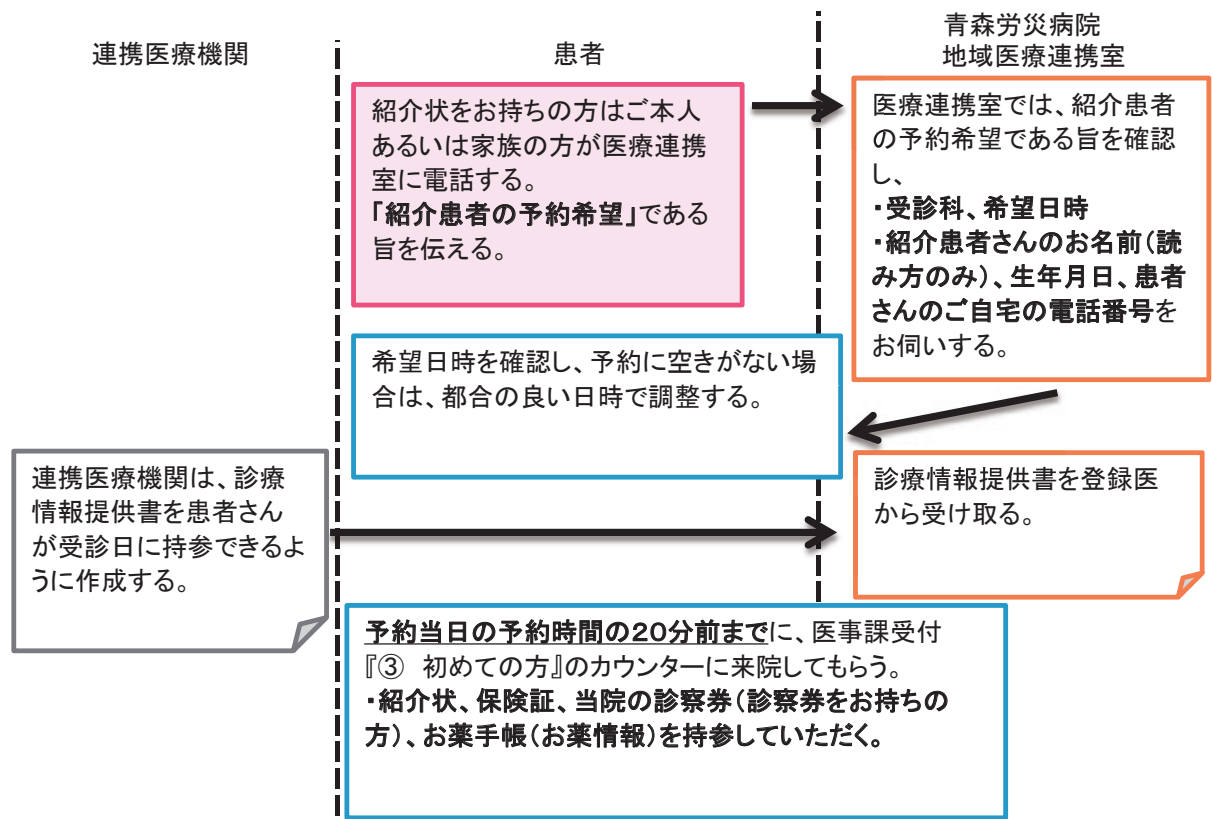


【電話による予約方法】

予約受付時間：平日午前8:30～午後5:00

予約電話番号：0178-33-1551 内線2515

◇利用手順



※FAX予約では、事前にカルテ登録を行います。電話予約の場合、当日のカルテ登録となりますので若干お時間を頂きます。

予 約 申 込 書

(ふりがな)			性 別	旧 姓
患者氏名	(姓)	(名)	男 ・ 女	
生年月日	明治・大正・昭和 平成・令和 年 月 日 歳			
住所	〒 ー 電話番号 ー ー			

受診希望日時	令和	年	月	日	曜日	時	分
--------	----	---	---	---	----	---	---

受診希望科（○をつけてください） 医師の指定がある場合 医師名〔 〕宛		
☐ 呼吸器内科 ☆	☐ 小児科 ※	☐ 放射線診断科 ※☆
☐ 消化器内科 ☆	☐ 整形外科 ☆	☐ 放射線治療科 ※☆
☐ 血液外来 ☆	☐ 形成外科	☐ 眼科
☐ 糖尿病・内分泌内科 ☆	☐ 脳神経外科 ☆	☐ 耳鼻咽喉科 ☆
☐ 神経科	☐ 皮膚科	☐ リハビリテーション科
☐ 神経内科 ☆	☐ 心臓血管外科 ☆	☐ 健康診断部
☐ 外科 ☆	☐ 泌尿器科 ☆	☐ 歯科口腔外科 ※☆

※の小児科・放射線診断科・放射線治療科・歯科口腔外科への予約は、直接診療科外来へ電話予約をお願いいたします。

☆の診療科につきましては、診療情報提供書も併せてお送りくださいますようお願いいたします。

(注)産婦人科は休診、循環器内科・神経科・麻酔科は、院内頼診のみとなっています。(令和2年7月現在)

主保険	保険者番号		区分	本 人 ・ 家 族
	記号・番号		資格取得日	
後期高齢者 受給者証・ 公費医療	市町村・負担者番号		負担割合	割
	受給者番号		資格取得日	

↑ 保険証のコピー貼付でもかまいません

医療機関名	
所在地	
電話番号・FAX番号	
送信担当者名	

青森労災病院へ 診療予約をされた方へ

◎お名前

様

◎あなたの予約日時は

月 日 () 時 分です

◎予約当日は

- * 予約時間の20分前までに、『③はじめての方』の窓口（正面玄関を入り左側）までお越し下さい。 ※糖尿病・内分泌内科については1時間前におこしください。
- * 診療上の都合により、多少時間がずれることもありますのでご了承下さい。

◎お持ちいただくもの

- ☐ 紹介状（必ずお持ち下さい）
- ☐ 保険証（公費医療の受給者証など）
- ☐ 本状
- ☐ 診察券（過去に青森労災病院に受診歴がある方）
- ☐ お薬手帳（または、お薬の内容が記載されている用紙）



交通ご案内

- ◆ 八戸自動車道八戸 IC より約8 km
- ◆ 八戸久慈自動車道八戸南 IC より約6 km
- ◆ JR 八戸線白銀駅より約700 m
- ◆ 市営バス「労災病院通」バス停
鮫方面 ① より徒歩5分
市庁方面 ②
- ◆ 市営バス「労災病院前」バス停
市庁方面 ③ より徒歩1分
岬台団地方面 ④

◎お問い合わせ先

青森労災病院

地域医療連携室

TEL 0178-33-1551 内線2515